だ

くだいョ伝。葉りに目も形れい受す葉 だけるンるほせま「にのでた大けがら

上んめ積すあ見でプと事取

方謝なす葉的ねがる °ゼうこと手す

。り感手で言極よりえすレいなる相に

しほうないからしてする。 またしまりはある。 でではいれいですずる。 でではいれいですずる。 でではいれいですずる。 ではいれいですずる。 ではいれいですずる。 ではいれいですずる。

。 をに。 とももンこといのる

②覚書きやた新ノた

でで付見し

相

レす葉自う人兄にがて口人 いつ気 クションをしています』 『ありがとう』『おかげょ 『ありがとう』『おかげま 『ありがとう』、コンド の方にしています。 の方にしています。 の方にしています。 の方にしています。 の方にしています。 の方にしています。 の方にしています。 の方にしています。 の方に入ってきます。 の方に入ってきます。 の方に入ってきます。 の言葉を一番りがとう」、コンド の方に入ってきます。 の言葉を一番りがとう」、コンド の言葉を一番りがとう」、コンド の言葉を一番りがとう」、コンド の言葉を一番りがとう」、コンド の言葉を一番りがとう」、コンド の言葉を一番りがとう。 のです。 のです。 のです。 のです。 のです。 のです。 °そじ日 れで本 はす人 っかの 感? 謝 6 の 言 ⁷。言意 **、番** 「 2 ン運んみ謝ン 葉識自**聞**あ 、ビ転に物のの 。すいを だ にて分 さ そう Ď う口 が状分くり職二手「を言上 しい自 ま < こに リす ス態の のが場のさあ持葉手 てな身 で プとす、トで言はとのおんりつをな ぜ言が 受受同うのしトとなう気こ 取うあとてまほあ う謙そく ひ葉何コけけじ」だ、をはのこ持と自り 、でくいめましか遜んほ人

運 **の** 使っているこ 好 き ロが な 言 葉 せ を

るあのわね なのないできれている。 のり入れ! 相手のできない、きない、きない、まない、な誠かく と上 なんいき手 大きさ 持あに、 たう意っれて いよや でしいおね 受が「なほて以は

5 月

発行責任者 しとやそら

> 強 法 0)

スと

い、上ではない。 でかりはない。 ではない。 でではない。 でではない。 でではない。 でではない。 ででではない。 でではない。 ではない。 で でる力代く、す子勉せ きすり、こののできる。 込るつトいの際で込む も内向に聞保れど強れ んまにまで、に でで付見し、、に お容上行き護ばもっば 役をにつま者良にてい

●に紹効てすのい何どい

けとわこめし上

してた目間スた題 た問時とをト°集 題間そ計ッこで そををのりプの集時

う解記ペまウ問中

はおった 言使ケ感

永

茂

みてくど言葉の受けっている。

をの人

く入ししオ題力数

しな集勧科眠憶きき勉す さ保たいにめのいしるま強る なに者うで接ま強きい果たる話のが、記す前、記す前、ため とし些良, する。 にん護ほの直し勉とて効しを 週 し皆良 ノ入。等勉す。な11集 思 てさず、大なに難勉 トるお、して開始に 等と した は で あん めんしい等と て学う。 ょ に次こで時飽法2始高回回のカンド・オキ < 習 。回回のみ だ方 さ法 記で問をなきとでが次 いを

入き題お教

°お

 \mathcal{O} 行 事 予

7 10 9 8 6 金 木 火 月 水 全校集会・ NO ふ Т 白 科 部 < ĴП Α 活 振 検 L 本 郡 動 替 診 ま学 連 部 デ 合 P 南 方 陸 Τ 力 2年 Α 調 総 查 分 { 行会

徒 勉ペズ中 強一に力 方ジ開が だ・すま 記ででの

ち うらから

齇 ょ 心し 身心 豊い < 1 カンパル び 鍛 で え 自 思 己 た 11

2 日(木)

鮫川中学校長

美

を

高

 \Diamond

る

生

徒

標

第 4 7 号

角田敏文

教

B ま n が あ る

生

徒

できます。 からもご覧 り等がスマ ・トフォン